

DidyFix®

注意事項

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みください。
後で参照できるように大切に保管してください。

 DIDYMOS®

取扱説明書



安全上のご注意

警告

- ・ご自身が前かがみになったり、体を横に傾けたりする時は注意してください。
- ・お子さまの顎と胸がつかない姿勢になっているか確認してください。呼吸が制限され窒息の恐れがあります。
- ・お子さまを常に観察し、口と鼻が塞がれていないことを確認してください。
- ・早産児、低出生体重児、持病のあるお子さまは、本製品を使用する前に専門医にご相談ください。
- ・早産児、呼吸器に問題のある乳幼児、生後4ヶ月未満の乳幼児は、窒息の危険性が高くなります。
- ・足の位置など、お子さまが製品に適切に装着されていることを確認してください。
- ・落下の危険を防ぐため、お子さまが抱っこ紐にしっかりと固定されていることを確認してください。
- ・自動車の運転中や同乗中は、絶対に抱っこ紐を着用しないでください。
- ・使用前に、すべてのバックル、ストラップ、調節具がしっかりと固定されていることを確認してください。

重要

- ・赤ちゃんを抱っこしたままウエストバックルを外さないでください。
- ・この抱っこ紐に複数の赤ちゃんを入れしないでください。
- ・この抱っこ紐は、ランニング、サイクリング、スキーなどのスポーツ活動中には使用できません。
- ・ご自身やお子さまの動きによって、バランスが崩れる恐れがあります。
- ・調理や掃除など、熱源を使用したり化学薬品に触れたりする作業中は、絶対に抱っこ紐を使用しないでください。
- ・抱っこ紐は、お子さまを抱っこするときだけ、装着者の方を向いて抱っこするように設計されています。
- ・一度に複数の抱っこ紐を使用しないでください。
- ・使用する前に、縫い目の破れ、生地破れ、その他の損傷がないことを確認してください。
- ・使用しないときは、お子さまから抱っこ紐を遠ざけてください。
- ・運動中、眠気、体調不良などにより、バランスや運動機能が低下している場合は、抱っこ紐を使用しないでください。

この抱っこ紐は、
体重 3.5 ~ 20kg の
お子さまのみご使用ください。

CEN/TR 16512:2015
ASTM F2236-16a/16CFR 1226

お手入れ方法



弱モード、30°C以下の水、中性洗剤を
用いて洗ってください。



乾燥機にかけないでください。

洗濯の前はすべてのバックルを留めてください

基本事項

ヘッドレスト の長さ調整

背当ての股幅調整 A



背あてに赤ちゃんを寝かせ、ウエストベルトをおなかまで持ち上げます。



布幅が赤ちゃんの膝裏から膝裏を支えるように調整します。

背当ての高さ調整 B



赤ちゃんを抱き入れる前に、背当ての高さを調整します。



背当ての左右のストラップを引き締めて、背当てを短くします。



赤ちゃんを抱き入れた後でも、ストラップを引き締めて調整できます。

ヘッドレスト C 長さ調整



白い紐を引き、透明の固定具でヘッドレストの長さを調整します。



白い紐をクリップにかけてスライドさせ、引き締めて調整できます。

小さな赤ちゃん



ヘッドレストの上端は、赤ちゃんが呼吸できるように耳までにします。

高さ調整



白い紐でヘッドレストの長さ調整後、ストラップを引いて高さを調整します。

大きな赤ちゃんやおんぶ



ストラップの端を結び、クリップにかけて固定し、スライドさせて調整もできます。

抱きおろし方 (対面抱き)



バックルを持ち上げて、ストラップをゆるめず。P.5 (b) 参照



反対側のトラップもゆるめます。重要:バックルを外さず、閉めたままです。



赤ちゃんを安全に支えながら、背中のストラップを外します。(b) 参照



必ず片手で赤ちゃんを支えながら、ショルダーストラップを肩からおろします。



赤ちゃんを抱っこします。その後でウエストベルトを外します。

各部名称



背当て
人間工学に基づいた立体的な設計で、弾力性のある上質な織布製。赤ちゃんの姿勢をしっかりサポート

ヘッドレスト調整
白い調整紐で高さ調整。ストラップ(赤)でクリップに固定

背当ての高さ調整
両側のストラップで調整

可動式クリップ
ヘッドレストの固定や位置調整

チェストストラップ
肩甲骨にのるように上下に、肩幅に合わせて左右に調整できます。

ヘッドレスト
サイズ調整と固定

ショルダーストラップ

ショルダーストラップ調整ベルト(a,b,c)
長さでショルダーパッド位置の調整が可能

レッグパッド

パッド調整
快適な抱き心地の位置にパッドを調整

安全ゴム
必ず安全ゴムにバックルを差し留める

背当ての股幅調整
赤ちゃんの成長にあわせて調整

ウエストベルト
人間工学に基づいて身体にぴったりとフィットして調整

ゴムループ
長く余ったストラップを短くまとめるゴム

赤ちゃんを抱き入れた後、
背中のバックルを留める方法。

0ヶ月～

対面抱きの
使い方動画



装着準備 ①背当ての股幅
②の高さを調整します。(P4
参照) ③ショルダーストラップ
はバックルに留めて輪状
にします。



ウエストベルトを腰の高い
位置に合わせて。赤ちゃん
のおでこにキスできる高
さが目安です。



安全ゴムにバックルを通し
てから、バックルを留めま
す。



バックルを後ろにまわして、
背当てが正面にくるように
します。



ストラップを上下に揺らし
て引き締め、ベルトが胴体
に密着するようにします。



赤ちゃんをウエストベルト
の上部に抱っこします。



背当てを赤ちゃんの耳ま
で引き上げます。



片方のショルダーストラップ
を肩にかけます。



片手で赤ちゃんを支えなが
ら、反対側のショルダース
トラップを肩にかけます。



背中のバックルを留め、引
き締めます。



背当ての中に手を入れて
赤ちゃんが背当てに深く座
るようにします。



赤ちゃんに近いショルダー
ストラップを引き締めます。
P5 (a) 参照



ショルダーストラップのバック
ルが肩に密着するようにスト
ラップを引き締めます。
P5 (b) 参照



背中側の長いストラップを
腕にかけ、後方に引き締め
ます。産後の骨盤底筋を守
るための引き締め方です。
P5 (c) 参照



もう一度、ウエストベルト上
部を赤ちゃんとお腹の
間に挟むように入れます。

チェック:M字の深い座り姿勢

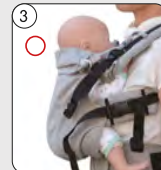
赤ちゃんは正しい姿勢で快適に抱っこされることで、健全な発育が促されます。
赤ちゃんを抱き入れた後は、必ず「M字」の「深い座り姿勢」の確認をしましょう



浅い座り姿勢:お尻の厚み
が少なく、膝とお尻が同じ
高さ。背当てにしわがあ
る。



抱っこ紐に手を入れ、太も
も、膝を持ち上げます。お尻
が深く下がる姿勢で座らせ
ます。



M字姿勢:膝が高くお尻が
深く下がる姿勢で、膝裏を
布が支えています。

ヒント

背当てが赤ちゃんにぴったりあ
うように、ストラップで調整でき
ます (P4参照)。ヘッドレストの上端は、
赤ちゃんが呼吸できるように耳まで
にします。



ショルダーストラップを背中にて交差する方法。
小さな赤ちゃんや背中でバックルを留めにくい方におすすめです。

0ヶ月～



装着準備 ①背当ての股幅
②高さを調整します③ショルダーストラップはバックルからはずします。



ウエストベルトを腰の高い位置にし、胴体に密着させます。



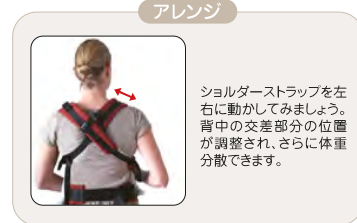
ショルダーストラップを肩にのせます。



反対側のショルダーストラップも肩にのせます。



背中中のショルダーストラップの下から反対側のショルダーストラップの長い部分を振ります。



アレンジ

ショルダーストラップを左右に動かしてみましょ。背中中の交差部分の位置が調整され、さらに体重分散できます。



ストラップを前に持ってきてバックルに留めます。P5(b)(c)参照



もう片方のショルダーストラップも背中にて交差させます。



ストラップを前に持ってきてバックルに留めます。



ショルダーストラップを両肩からおろします。



肩にはなにもない状態になります。



赤ちゃんをウエストベルトの上部に抱っこします。



ショルダーストラップに腕を通し、背当てを赤ちゃんの脚の上の耳まで引き上げます。



反対側も腕を通し、ストラップが赤ちゃんの脚の上にあることを確認しましょう。



片手で赤ちゃんを支えながら、ストラップを引き締めます。P5(b)参照



背中側のストラップを引き締めると、より密着することができます。P5(c)参照



確認:「深い座り姿勢」になるよう、太もも・膝を持ち上げます。P7参照



確認:膝が高くお尻が深く下がるM字の姿勢です。



パ
ラ
レ
ル
装
着

ク
ロ
ス
装
着

お
ん
ぶ

対面抱っこ(パラレル装着)からおんぶ姿勢に抱き変える方法です。
赤ちゃんが大人の背中の高い位置でびったり密着するために、
ショルダーストラップをしっかりと引き締めてください。



対面抱っこ(パラレル装着)から始めます。P6参照



「M字の深い座り姿勢」になっているかを確認します。P7参照



バックルを持ち上げてショルダーストラップを緩めません。P5(b)参照



片方の腕(ショルダーストラップの上)から出します。



ショルダーストラップは脇の下にあります。



反対側の腕はショルダーストラップの下から出します。



ショルダーストラップは片方は肩の上、反対側は脇の下にあります。



ショルダーストラップを握り、赤ちゃんのお尻を支えて背中にスライドさせます。



背筋を伸ばした前傾姿勢で、赤ちゃんのお尻を支えて背中にスライドさせます。



ショルダーストラップの輪を通してします。



脇のショルダーストラップを引き上げながら腕を通します。



赤ちゃんを片手で支えながら、まっすぐ立ち、ストラップを引き締めます。反対側も同様になります。P5(c)参照



ショルダーストラップが肩にのるようにチェストストラップを引き締めます。



確認:「深い座り姿勢」になるよう、太もも、膝を持ち上げます。P7参照



確認:膝が高くお尻が深く下がるM字の姿勢です。P5(a)参照

生後4か月～

おんぶの
使い方動画

高いおんぶのコツ

1. 事前準備



ショルダーストラップのベルトを引き締めて、短くします。P5(a)参照

2. ウエストベルトの位置



低い位置:背中の赤ちゃんが見えにくく、腰の負担に注意。



ウエストベルトを高い位置に上げて、もう一度引き締めます。

3. ショルダーストラップの調整



おんぶした後でもストラップを引き締めて調整できます。P5(a)参照



赤ちゃんが大人の肩越しに景色を見やすくなります。

パラレル装着

クロス装着

おんぶ

